

日時

平成22年 **11月6日** 土 9:20▶17:00

場所

岐阜薬科大学新学舎 1階 第1講義室
(岐阜市大学西1-25-4 岐阜バス「岐阜大学病院」バス停下車 徒歩4分)

特別講演

特別講演1

分子標的治療
新規シグナル阻害剤の開発

名古屋大学医学系研究科 血液・腫瘍内科学分野 教授
直江 知樹 (なおえ ともしき)



—講演概要—
ABLキナーゼ阻害の現状と問題点、ならびに我々が取り組んできたFLT3およびその下流シグナルを標的とした薬剤開発を紹介し、臨床開発に至るトランスレーショナルな問題について考えてみる。

特別講演2

難病克服をめざして
生物分子を基盤とする統合創薬科学

京都薬科大学薬品化学分野 教授 創薬科学フロンティア研究センター センター長
木曾 良明 (きそ よしあき)



—講演概要—
エイズ、マラリア等の感染症、高血圧症、糖尿病、アルツハイマー病などの難病克服をめざす医薬品化学においてはL- α -アミノ酸で構成されている機能タンパク質である酵素やレセプターとの分子間相互作用という観点で考えてみる。

日程

9:30~10:30	「骨芽細胞分化におけるmicroRNAの役割」 国際バイオ研究所 / 伊藤 智広
10:30~11:00	「カフェ酸フェネチルエステル(CAPE)の酵素合成と機能性評価に関する研究」 アピ株式会社 長良川リサーチセンター 基礎研究部 内山 智、加藤 健司、伊藤 美奈、見上 裕士、服部 徳子、市原 賢二
11:00~12:00	「胎児期エストロゲンシグナルのgain of function mutationと生体影響」 岐阜薬科大学 准教授 / 中西 剛
13:00~14:30	特別講演1 学生講演 「microRNAを用いた比較腫瘍学—悪性メラノーマを中心に—」 岐阜大学 連合獣医学研究科 / 野口 俊助
14:30~15:00	「PET標識化を目指したオリゴ核酸に適する高速クリック反応の開発とそのオリゴアデニル酸2-5Aへの応用」 岐阜大学 連合創薬医療情報研究科 / 白石 孝雄
15:15~15:45	「Ewing 肉腫に対する分子標的治療—RNA創薬を目指して—」 岐阜大学 医学系研究科整形外科学 / 瀧上 伊織
15:45~16:45	特別講演2 「新規GPCRシグナル依存症Rho活性化因子の細胞機能における役割」 岐阜大学 連合創薬医療情報研究科 准教授 上田 浩

第三回
新しい創薬と医療の時代へ
先端創薬医療シンポジウム

「新しい医学・医療の時代の息吹きを感じてみませんか？」

—医薬工連携によるチャレンジ—

問い合わせ先

岐阜大学 連合創薬

〒501-1193 岐阜市柳戸1-1
岐阜大学大学院連合創薬医療情報研究科 連合創薬係
TEL058-230-7602 FAX058-230-7604

